

ようこそ 霞ヶ浦へ！

霞ヶ浦とは？

霞ヶ浦は、茨城県の南東部にあり、霞ヶ浦(西浦)・北浦・常陸利根川の3つの水域から成り立っています。面積は滋賀県にある琵琶湖に次いで2番目で、水深は平均4m、最大7mと広くて浅い湖です。霞ヶ浦には桜川をはじめ56河川が流れ込み、その流域には約96万人が暮らしています。

湖沼の成因	海跡湖
最大水深	7m
平均水深	4m
湖面積	220km ²
湖岸線	252km
湖容積	8.5億m ³
湖沼型	富栄養湖 淡水
利水の状況	上水・工水・農業用水・水産



霞ヶ浦の水質・・・

霞ヶ浦の水質は、昭和30年代ごろは比較的きれいでしたが、昭和40年代後半から流域における人口増や生活様式が多様化、産業活動の進展などに伴い水質の汚濁が進行しました。

そこで、茨城県では、霞ヶ浦に係る湖沼水質保全計画を策定し、下水道の整備や高度処理型浄化槽の設置推進など、様々な水質浄化への取り組みを行っています。



天王崎の湖水浴場 (昭和40年代後半)

9月1日は「霞ヶ浦の日」

「霞ヶ浦の富栄養化の防止に関する条例」(平成19年度に霞ヶ浦水質保全条例に改正)の施行1周年を記念し、昭和58年に毎年9月1日を「霞ヶ浦の日」と決めました。

茨城県では、7月第3日曜日の「海の日」から「霞ヶ浦の日」までを「霞ヶ浦水質浄化強調月間」と定め、流域市町村や市民団体と協力し、流域住民の浄化意識の高揚と浄化活動の促進を図る取り組みを行っています。



9月1日「霞ヶ浦の日」水質浄化キャンペーン

今、私たちにできること・・・

霞ヶ浦の水質汚濁の大きな原因の一つは、家庭からの生活排水です。みんなで次のことを守り、水質浄化に努めましょう！

- 1 台所では目の細かいストレーナーまたは三角コーナーの設置や水切りネットなどで細かいごみを取り除きましょう。
- 2 天ぷらなどの廃油はリサイクルの一環として回収を推進しましょう。また回収が困難な場合は、使い切るか新聞紙などにしみ込ませて固化剤で固めたりしてごみとして出しましょう。
- 3 なべや皿の汚れはゴムベラで落としたり紙でふいてから適量の洗剤で洗きましょう。又はアクリルたわしを利用しましょう。
- 4 台所の調理くずは、コンポストなどで堆肥にしましょう。
- 5 お風呂の残り湯は有効に使いましょう。
- 6 水路や側溝などを定期的に清掃しましょう。
- 7 川や湖や側溝に、ごみを捨てないようにしましょう。
- 8 庭木や草花、菜園などへの肥料や農薬は、使いすぎないようにしましょう。
- 9 下水道などへの接続や高度処理型浄化槽を設置しましょう。
- 10 浄化槽は定期的に点検し、清掃、検査しましょう。

利用案内

利用できる施設

利用施設	利用時間	定員	利用案内
展示室	10:00～16:30 (入室は16:00まで)	—	見学自由(無料)、説明・案内可(予約制)
展示交流広場	10:00～16:30 (入室は16:00まで)	—	予約制
交流サロン	9:00～17:15	—	—
文献資料室	9:00～17:15	—	—
会議室A・B	9:30～17:00 ※注	各20	予約制
多目的ホール	9:30～17:00 ※注	200	予約制 ※有料
研修室	9:30～17:00 ※注	50	予約制 ※有料

※予約制の施設については、電話でお問い合わせ下さい。(TEL 029-828-0960)

※注：9：30以前及び17：00以降の利用につきましては、ご相談下さい。

有料施設料金表(多目的ホール・研修室)

施設	利用時間	利用時間			その他			
		午前	午後	夜間	午前・午後	午後・夜間	全日	その他
多目的ホール ※200人収容のホールを 分割して使用できます。	全部を利用	4,420	6,070	3,700	10,490	11,620	16,050	1,850
	3分の2を利用	2,980	4,110	2,470	7,100	7,820	10,800	1,230
	3分の1を利用	1,540	2,060	1,230	3,600	3,910	5,450	620
研修室		1,750	2,160	1,440	3,910	4,320	6,070	720

※「その他」とは、12：00～13：00、16：00～18：00、20：00～翌日9：30の利用です。

※次の場合は減免します。

- ・学校(幼稚園・小・中・高・大学など)等が環境保全などの教育活動を行う場合
- ・県または市町村が環境保全などの研修会、講演会、会議等を開催する場合
- ・市民団体等による環境保全活動(シンポジウム、会議等)

休館日

毎週月曜日(祝祭日の場合は翌日) 年末年始(12月29日～翌年1月1日)

サポーターに加入していろいろな活動に参加しよう！

- センターイベントなどの情報をいち早く入手できます。
- 文献資料室の図書を借りることができます。

※サポーターの登録は無料です。身分証明書をお持ちのうえ、文献資料室で登録を行って下さい。

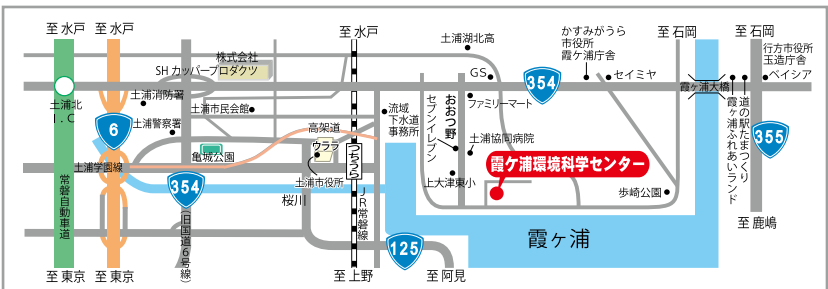
センターのパートナー活動に参加してみませんか？

センター運営にご協力頂ける県民ボランティアを広く募集しております。



〒300-0023
茨城県土浦市沖宿町1853番地
TEL 029-828-0960(代)
FAX 029-828-0967

・常磐自動車道土浦北インターチェンジから約20分
・土浦駅東口から車で約15分
・霞ヶ浦大橋から車で約25分
・土浦駅からバス(土浦協同病院)行き乗車約25分
「土浦協同病院」バス下車後、徒歩約20分



ホームページ <http://www.pref.ibaraki.jp/soshiki/seikatsukankyo/kasumigauraesc/index.htm>

シンボルマーク



きれいな湖の波紋に魚が集まるようなイメージ。波紋と魚を一体とし、霞ヶ浦の頭文字「K」も兼ねています。

キャラクター



「朝露を浴びてキラキラ輝く緑葉についた水滴」をイメージ。大自然の小さな精霊です。

人と自然の共生をめざして



センターについて・・・

センターの役割

霞ヶ浦環境科学センターは、平成7年10月につくば市・土浦市で開催された第6回世界湖沼会議において設置が提唱され、平成17年4月に開館しました。

霞ヶ浦をはじめとする県内の湖沼、河川の水質環境や大気環境などの保全に取り組むため、「調査研究・技術開発」、「環境学習」、「市民活動との連携・支援」、「情報・交流」の4つの機能を、市民、研究者、企業及び行政の4者のパートナーシップのもと、効果的に発揮できる運営を目指しています。今後とも、水質浄化に対する取り組みを行う総合的な拠点施設としての役割を担ってまいります。

センターの4つの機能

調査研究・技術開発

県内の湖沼・河川の水環境や大気環境などの保全のための調査研究・技術開発を行います

- 霞ヶ浦など県内湖沼や河川の水質変動要因、汚濁負荷削減などに関する調査研究・技術開発
- 大気中の有害物質に関する調査研究・実態把握調査
- 航空機騒音、地下水、土壌などの調査

環境学習

「学び」「考え」「行動」できる体験型学習の機会や場を提供します

- 展示室などの環境学習のための施設
展示室：霞ヶ浦に関して歴史・地理・文化・生物・水質など様々な視点で学ぶ
研修室：観察や実験、実習など
屋外広場：いきもののにわで、生き物や生態系の観察
- 環境学習の実施
・講師による指導
・小中高校クラス単位の学習
・体験型環境学習イベント
・出前講座

センターの役割

- 環境保全に取り組む市民が交流し合うための交流サロン
- 環境学習の補助や環境保全イベントのスタッフなど、センター事業に参画するパートナー(ボランティア)活動
- 環境保全活動や環境学習等の市民活動に必要な機材の無料貸出
- 環境保全活動を行う市民団体への助成

環境学習

- センターホームページによる情報発信
- 文献資料室における図書の閲覧、貸出
- 市民、研究者、企業、行政による交流会やシンポジウムの開催



活動の場を提供するとともに、専門家、各機関とのネットワークを構築し支援を行います
市民活動との連携・支援

霞ヶ浦等に関する様々な情報を収集し、発信します

情報・交流



調査研究・技術開発

霞ヶ浦などの湖沼環境研究

湖沼環境研究室では、霞ヶ浦をはじめとする県内の湖沼や河川の水質保全のために、水質変動要因や汚濁負荷削減などについて調査研究・技術開発を行っています。



- 研究テーマ
- ・霞ヶ浦の水質変動要因の解明
 - ・アオコの発生要因に関する調査研究
 - ・流域からの汚濁負荷の把握に関する調査研究
 - ・流域からの汚濁物質の削減手法に関する調査研究・技術開発
 - ・沼沼や牛久沼の水質詳細調査

大気・化学物質調査研究

大気・化学物質研究室では、県内の大気環境の保全のために、大気中の有害物質についての調査研究や実態調査を行うとともに、航空機騒音や地下水・土壌などについても調査を行っています。



- 研究テーマ
- ・微小粒子状物質（PM2.5）に関する調査研究
 - ・光化学オキシダントに関する調査研究
 - ・有害大気汚染物質や化学物質の実態把握調査
 - ・航空機騒音の実態把握調査
 - ・地下水、土壌などに関する調査

市民活動との連携・支援

交流サロン事業



交流サロンは、市民による水質浄化活動や環境保全活動の輪を広げるオープンスペースです。また、水環境や自然とのふれあいを促すイベントも定期的に開催しています。

環境保全活動への助成



茨城県内に活動拠点のある市民団体等の環境保全活動・環境学習等を支援するため、補助事業を行っています。

機材の貸出



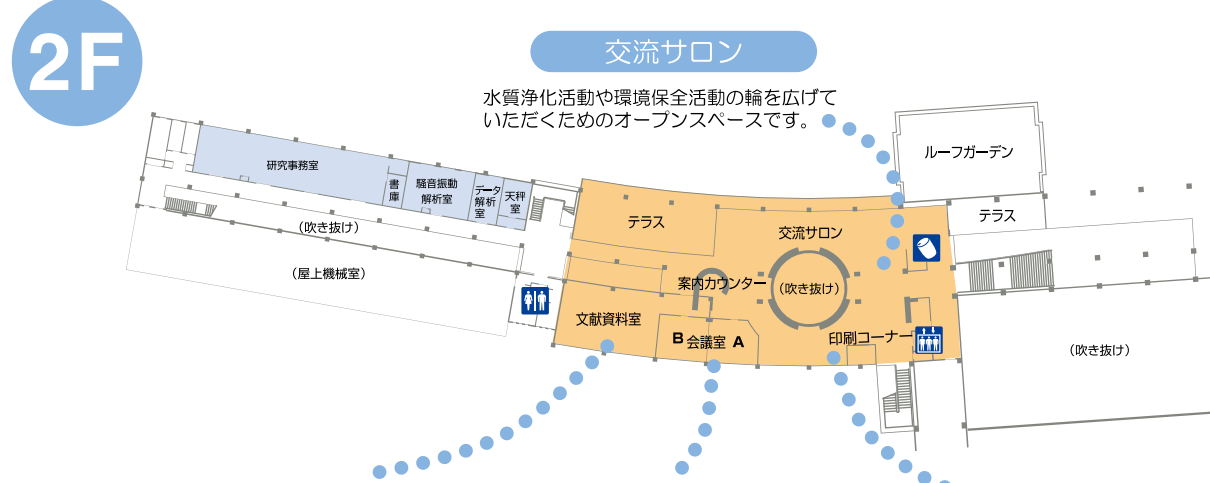
市民団体等が行う環境保全活動や環境学習活動等を支援するため、必要各種機材の貸出を行っています。

パートナー活動



パートナーは、センター事業に協力するスタッフとして活躍する県民ボランティアです。

施設案内



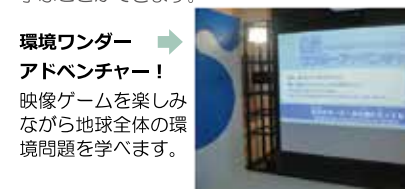
1 ようこそ霞ヶ浦へ

霞ヶ浦について楽しみながら学べる展示学習の始まりです。



7 地球環境を考える

さらに視野を広げ地球全体の環境問題について学ぶことができます。



展示交流広場
市民団体、研究者、企業などが環境活動の成果等を展示・発表することができるスペースです。

6 清らかな水をめざして

水の汚れの原因を知り、今私たちにできることを学びます。



体験型クイズ
「湖に優しい生活排水を考える」
AR体験
「わたしの霞ヶ浦宣言」

2 霞ヶ浦の歴史と暮らし

10万年前から現在に至る霞ヶ浦の歴史と人々の暮らしをたどりま。



3 霞ヶ浦の生きもの

現在の霞ヶ浦の生態系と生活・産業との関わりなどを学習します。



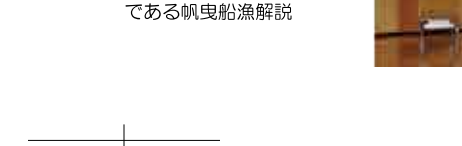
4 みんなの学び舎

水質、植物などについて、自ら学び体験できるコーナーを設けています。



5 霞ヶ浦流域情報

プロジェクター式のジオラマを使って霞ヶ浦流域について学びます。



環境学習

環境学習



研修室等を活用し、日常生活と環境との関わりなどについての環境体験学習を実施しています。また、センターから講師を派遣する出前講座も行っています。

霞ヶ浦水質浄化ポスターコンクール

このコンクールは、子供たちの霞ヶ浦に対する関心を高めることを目的とし、県内の小中学生を対象とし毎年開催しています。入賞作品は、県内施設等で巡回展示を行っています。

各種体験型学習



霞ヶ浦の植物、魚、昆虫、野鳥などの自然生態の観察・探索を体験します。

霞ヶ浦水質浄化強調月間イベント



霞ヶ浦水質浄化月間中に子どもから大人まで水環境にふれあえるイベントを開催します。

情報・交流

情報の提供

- 【広報誌等による情報発信】
- ・要覧の発行（年1回）
- ・年報の発行（年1回）
- ・サポーターへのイベント告知
- 【ホームページによる情報発信】
- ・環境保全に取り組む団体の紹介、イベント情報の発信
- ・センター調査研究成果の発信 など

文献資料室

- 文献資料室では、霞ヶ浦に関する資料や、環境に関する図書を閲覧できます。
- 【図書の貸出】※
- ・貸出にはサポーター登録（無料）が必要です。
 - ・1人5冊まで借りられます。
 - ・貸出期間は、2週間です。

交流促進事業



水質保全や里山保全に取り組む市民団体、環境学習に取り組んでいる学校等が活動発表などを行う機会を設け、相互の情報交換や交流を促します。

パソコンの利用について

交流サロン及び文献資料室にはパソコンを備えています。文献資料室受付にお申し込みください。

※利用時間は、お一人様30分まで。
※小学生は保護者同伴の場合のみ利用できます。
※学生証などで利用者氏名を確認させていただきます。

※サポーターについては、利用案内のページをご参照ください。